

ご利用時の注意点

- ・お子様のみではご利用できません

初めてのクライミングにお子さんは不安を感じています。また身長が低く視野が狭いため、頂上付近では大人以上の高さを感じます。

当施設では勝手ながら、最初はぜひ親子で体験していただきたくこのような措置を取らせていただいております。

ぜひ親子パックをご利用ください。

なお、クライミング経験者はその限りではありません。

安全上の注意事項

クライミング行為は登るという危険行為であり、怪我や事故の可能性があります。

Own Risk を把握し、自己管理の下に施設を利用する必要があります。

ホールド(手かかり又は足かかり)の回転や破損等がないよう施設の設備管理には最善を尽くしておりますが、完全に防ぎきることはできません。

60kgの方が1m落下した際の衝撃は1.5tにもなります。マットは着地の衝撃を和らげるためのものであり、着地の怪我を未然に防ぐものではありません。

以下の3点を心がけてください。

- ① クライムダウン（つかみやすいホールド伝いに降りる）
- ② 登り始める前の周囲の確認（幅は3m程度あけて登ってください）
- ③ 登っている人の確認（落下地点にご注意ください）

当施設は高さ約4.3メートルの壁を設置しルート(課題)を設定しております。自己の技術・能力を超えて無理に登らないよう冷静な判断が求められます。

・登っている人の中には絶対に入らないで下さい。

先に登りはじめた人に優先順位があります。登っている人がいる壁には絶対に取り付かないでください。

・スタッフの指示に従ってください

怪我や事故が起きないように充分注意して施設をご利用下さい。スタッフの指示に従っていただけない場合や、危険な行為とみなされる場合はご利用をお断りする場合がございます。

・マットの上で走ったり遊んだりしないで下さい。

安全にご利用頂くために

- ・アルコールを飲んでのご利用はお断りさせていただきます。
- ・健康状態やその日の体調が良くない場合、ただちに施設のご利用を中断してください。
- ・施設利用中での、重度なケガの発生が疑わしい場合は、必ずスタッフにお知らせください。
- ・爪が伸びすぎた状態で登ると危険です。受付に爪切りがありますのでお声掛けください。
- ・キズについては困る高価な装飾品や、登りの妨げになるもの（指輪や時計等）、ケガの原因になるものははずしてご利用ください。
- ・ホールドの緩みや異常に気がついた際はスタッフにお声掛けください。
- ・一部クライミングウォールの裏に入れる場所がありますが、壁裏には入らないでください。

きれいにご利用頂くために

- ・クライミングシューズを履いたまま、休憩室やトイレ、階段を利用しないでください。
- ・施設内は禁煙となっております。喫煙は屋外所定の喫煙所をお願い致します。

楽しくご利用頂くために

・長時間同じ壁を占領しないで下さい。ただし、当施設が行うスクール等で一部使用させていただく場合がございます。ご理解とご協力をお願い致します。

・貴重品や持ち物は自己管理下さい。施設備え付けの貴重品ロッカーをご利用頂けますが、紛失、盗難等の責任は一切負いかねます。

・スタッフの注意、指示を無視した場合は、ジムの利用を中止していただく頂く場合がございます。その際、お支払い済みの利用料金、登録料の返却は致しませんので予めご了承ください。

リードクライミングにおける注意事項

クライミングは危険を伴うスポーツです。ルールを守っていても、時として最悪な結果を招くことがあります。

危険認識または将来の予測能力が欠けているクライマーはその能力高いクライマーに比べて、より、重大な損害を被る傾向と、事故後に他のクライマー（ビレイヤー）又は関係者とより深刻なトラブルを巻き起こす傾向があります。

リードエリアご利用について

- ・原則、安全講習を受けた方のみご利用いただけます。

(スポーツクライミング指導員が引率する団体はその限りではない)

- ・ビレイが危険を伴っている場合（過度なロープのたるみ、過度な体重差、制動手の離れ等）スタッフが指導することがございます。あらかじめご了承ください。なお、ビレイヤーが力量に不安を覚えるルートをトライの際はお気軽にスタッフをお呼びください。

- ・ロープやハーネスに痛みがありますと大変危険です。ただちにクライミングを中止し、レンタルをご利用ください。

- ・ロープはシングルロープ（9mm 以上）をお使いください。ハーネスはクライミング専用のものでお使いください。パラグライダー用など、クライミング以外の用途で発売されているハーネスは使用禁止です。

- ・ダブルロープ、アイゼン、ピッケルのご利用はご遠慮ください。また土足でのクライミングも厳禁です。

- ・グレードはクリップ技術を含みます。グレードを求めない場合であっても、3ピン目までは確実にクリップを行うようにしてください。また10M以上の高さであっても、2ピン以上のクリップ飛ばしは行わないでください。